

青森県水産試験場事業概要 昭和42年度

正 誤 表

ページ	行	誤	正
1	上 6行	魚群の游生態等	魚群の游生態等
7	上 7行	須後崎 NIN135'	須後崎 NIN13.5
9	上20行	権現崎 WNW114.5'	権現崎 WNW14.5
9	上34行	権現崎 WNW114'	権現崎 WNW1.4'
36	上14行	15日9時頃北緯44°-19'	15日9時頃北緯44°-19'
40	上14行	内訳91mm(3.0寸)アシラン	内訳91mm(3.0寸)アミラン
40	〃	210D/6本 60日掛	210D/6本 60日掛
40	〃	9.0m印 18返	9.0m切 18反
40	24行	流網又は延網の操業	流網又は延縄の操業
40	下 6行	30尾未満の場合は余数	30尾未満の場合は全数
40	下 4行	②体長(尾又は長)	②体長(尾又長)
41	上 3行	操業の都度多項目測定	操業の都度全項目測定
41	下 9行	平年並か稍低目	平年並か稍々低目
41	下15	竹島周辺と能登沖で稍高く	竹島周辺と能登沖で稍々高く
42	下21行	138°40' 以東の	138°41' 以東の
42	下17行	漁船の急増により。	漁船の急増により、
42	下14行	41°10' ~41°41'	41°10' ~41°41' N
57	下 5行	(40.81トンテーゼル	(40.81トンデーゼル
57	〃	160P°S)により艘びき	160P°S/てより一艘びき
62	上 6行	深浦地区では作崎地区	深浦地区では釧作地区
68	上 2行	漁海況速報を毎週取纏め、この外	漁海況速報を毎週取纏め関係水試、県内普及員、漁協に送付した。この外
68	下11行	1年の13.83%(0.58トン)にとど	1年の13.83%(0.58トン)にとど
180	上12行	a項目 魚種別	a項目 魚種別
187	上11行	3.調査方法 1そうびき	3.調査方法 試験船幸洋丸(121トン400馬力)を使用して1そうびき
187	上13行	Ⅱ調査結果 1.経過	Ⅱ調査結果 1.経過
187	下13行	操業位置を變て前後	操業位置を変えて前後
187	〃	別添の操業成績を得た	別添の漁業成績を得た
187	下 8行	昭和24年8月本場白鷗丸に	昭和24年8月本場白鷗丸に
188	上11行	2.漁獲成績	2.漁獲成績
188	下 4行	2.27別紙漁場数	2.27別紙漁場図
189	下 2行	水深での曳網は	水深での曳網は
190	上 2行	甲長 甲中	甲長 甲巾
191	上 1行	幸料丸 3月4日	幸洋丸 3月4日

ページ	行	誤	正
192	下9行	タラ, スケソタラ	タラ, スケソウタラ
192	下8行	回遊性のタラやスケソタラ	回遊性のタラやスケソウタラ
192	下2行	アガガレイ, スケソタラ	アガガレイ, スケソウタラ
192	上3行	ソ連警備艇から交渉を受ける	ソ連警備艇から干渉を受ける
197	下5行	ブ リ 計 中 大	ブ リ 小 中 大
198	下13行	5.漁獲水温 当水域	5.漁獲水温 当水試
199	上8行	又, 滞永間も	又, 泳期間も
199	上12行	若令魚, 成魚をわず	若令魚, 成魚をとわず
199	上17行	光力を利用し	光力を使用し
199	上18行	夜間沿岸に游するようで	夜間沿岸に游するようで
199	上21行	夜のうちに入納したもので	夜のうちに入網したもので
199	上23行	底質が容礁の陸棚	底質が岩礁の陸棚
200	下11行	津軽海峡の海況を	津軽海峡の漁況を
203	上3行	10月 255 月別 年別	10月 225 月別 銘柄別
207	上12行	試験船瑞鷗丸(40.81平	試験船瑞鷗丸(40.81下
208	上13行	2期間昭和42年7月1日～今年	2.期間昭和42年7月1日～全年
209	下6行	機械の効率化とともに漁獲	機械の効率化とともに漁獲
210	下10行	三枚網, サヨリ船びき, 網	三枚網, サヨリ船びき網
216	上1行	4.水産土木工事	3.底質と生物相との相関性を究明し, 今後の漁業計画確立の資とする。 4.水産土木工事
217	下から 1～2	1.35cm/day, 1.26cm/day, 1.02cm/day	1.35cm/day 1.26cm/day 1.02cm/day
221	上から2	密生していた。青森市	密生していた青森市
221	〃 4	比較良好	比較的良好
223	〃 2	資源量調査を推定	資源量を推定
226	第1表	施設時期	施置時期
227	上から3	流 出	流 失
277	〃 9	〃	〃
240	第1図	0> (20尾)	0< (20尾)
241	第2表	38尾	381尾
243	下から3	交障を支える	交障を与える
246	上から12	ベストン	ベントス
246	下から12	〃	〃
248	第3表	塩入崎	塩入橋
252	下から5	42年10月17	42年10月17日
253	下から13	可成り他い	可成り多い

ページ	行	誤	正
256	第1図	不凍但し	不凍但し
258	上から 12~13	漁体	魚体
259	第2表	(g)	(cm)
260	第1図	500	500(粒)
260	第1図		
264	7	過去の9ヶ年中の	過去9ヶ年中の
266	下より8	9.0gであるが5日~7日までの	9.0gであるが5月~7月までの
270	〃 8	岩手県沖に南下をくりかえして	岩手県沖に南下するもの北上南下をくりかえして
271	6	経過日数をみると八戸周辺では	経過日数をみると八戸沖周辺では
271	下より5	恵山海域がおそく	恵山海域でおそく
271	〃 1	以上の詳細な	以上の詳細は
273	〃 2	燃料の節減	燃料の節減
274	第1表	カタクチイワシ35年 3.473	カタクチイワシ 3.423
295	9	全昭和42年11月9日	全42年11月9日
295	11	NH ₄ -N (mg/l) PO ₄ -P (mg/l)	NH ₄ -N (μg/l) PO ₄ -P μg/l)
296	14	8月は何れも調査点も	8月は何れの調査点も
296	18	10~55 mg/l 0~190 mg/l)	10~55 μg/l 0~190 μg/l)
299	第1表の1	NH ₄ -N mg/l PO ₄ -P mg/l	NH ₄ -N μg/l PO ₄ -P μg/l
300	第1表の2	〃	〃
301	第1表の3	〃	〃
301	〃	ワイヤーの長さ25	ワイヤーの長さ 24
302	第1表の4	NH ₄ -N mg/l PO ₄ -P mg/l	NH ₄ -N μg/l PO ₄ -P μg/l
306	3	底質生物の	底棲生物の
309	8	2. 10. 6	42. 10. 6
310	下より9	84~310 mg/l	84~310 μg/l
311	5	大川 8 g/l	大川 8 μg/l
312	図 1	②	②'
313	表 1	時刻 7月8日 7.10 17.30	時刻 7月8日 7.10 07.30
315	表 3	銅 96 g/l	銅 96 μg/l
316	表 4	2 2. 1	2 2' 1
316	下より2	水 温	水 深
319	3	(表2-1)の分析値	(表2-1)の分析値

ページ	行	誤	正
325		10月14日におこり、ての時の	10月14日におこり、その時の
341	3	長崎峰典	長峰良典
341	18	PHはガラス電極PHメーターによる	PHはガラス電極PHメーターによつた
341	19	10立ポリイチレン瓶に詰めて運搬した	10立ポリイチレン瓶に詰めて運搬した